

受 験 番 号					

氏 名	

2015 (平成27) 年度放送大学  
大学院修士課程  
文化科学研究科 文化科学専攻

## 人文学プログラム

### 筆 記 試 験 問 題

試 験 日 : 2014 (平成26) 年10月5日 (日)

試 験 時 間 : 9時30分~11時30分

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、HB又はBの黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、問題冊子1冊及び解答用紙3枚です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、問題冊子を確認してください。問題冊子は、表紙、白紙、問題(4頁)、下書き用紙(3枚)の順に綴じられており、合わせて9枚です。冊子を綴じているホッチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。問題冊子または解答用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は「大問題(問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。)」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号並びに「大問題」番号及び「大問題」ごとに何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
7. 問題冊子及び解答用紙を持ち帰ってはいけません。
8. 問題冊子は試験終了後に回収します。問題冊子に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
9. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、問題冊子及び解答用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

## 人文学プログラム筆記試験問題

次の各問に答えなさい。

なお、解答用紙は各問（大問題）ごとに使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を必ず記入すること。

### 第1問

以下の①～⑤の設問のうち、あなたの研究題目に最も近い分野の設問を一つ選んで、その設問に対して解答しなさい。なお、選択した設問の番号を、解答用紙の冒頭に明記すること。

#### ①〔哲学・思想・宗教〕

哲学・思想・宗教において、あなたが最も関心を持っているテーマの概略を述べた上で、どうしてそれを問題にしようと思うようになったのか、これからどう深めていきたいのか、それを研究することはどんな意義があると考えているのか、1000字以上1200字以内で述べなさい。

#### ②〔美学・芸術論〕

あなたが最も素晴らしいと考えている芸術作品を一つ選んで、その芸術作品を美学の視点から、1000字以上1200字以内で分析しなさい。

#### ③〔歴史学〕

歴史学研究における文献史料と非文献史料の関係について、自らの研究テーマを事例として挙げながら、1000字以上1200字以内で述べなさい。

#### ④〔文学・言語文化〕

文学・言語学・言語文化に関して、あなたが最も興味を抱いている作品・作家・理論・現象などを一つ選び、

(1) それを選んだ理由、

(2) それについてこれまで勉強したこと、

(3) これから研究していくとしたらどのような問題意識でアプローチしていくか、

について、合わせて1000字以上1200字以内で述べなさい。

#### ⑤〔人類学・比較文化〕

人々の日常生活に現れた変化で、グローバル化の一環とみなせる具体的な事例をとりあげ、それがなぜグローバル化の一環と言えるのか（その要因や影響について）、1000字以上1200字以内で述べなさい。

## 第2問

次の英文を読み、後に続く設問に答えなさい。

If the study of the past has any value, that value lies in its ability to reveal the complexities of human experience, and (a) to counsel against ruling out as of no significance any of the paths that were only partially followed, or not followed at all. At some turn in the road, they may once again come unexpectedly into view. The recognition that the present is full of surprises requires a similar recognition that the past was equally so in the eyes of those who lived it. The challenge that faces the historian is to see and experience that past through their eyes, while knowing, yet trying not to know, what happened afterwards. It is to make the motives for their actions comprehensible to those who do not share their values, attitudes and outlook, and who live in a very different environment. It is to enter imaginatively into the past while still maintaining one foot in the present, and always to be alert to new ways of approaching it.

[中略]

Historical writing draws its inspiration from curiosity, and as long as curiosity remains, (b) so also do the opportunities. These opportunities have been vastly expanded by the increase in the amount of easily accessible information generated by the digitizing of books and archives. Yet digitization also has its dangers, foreshadowed in the words of the chorus in T. S. Eliot's *The Rock*:

Where is the wisdom we have lost in knowledge?

Where is the knowledge we have lost in information?

Good history will continue to depend, as it has always depended, on something more than the amassing of information and the deployment of knowledge. Every historian's approach to the past is shaped by personal temperament and experience, but no historian is an island unto himself or herself, and wisdom is ( c ), at least in part, from reading and reflecting on the work of past and present historians, and consciously participating in a collective enterprise that spans the generations and is committed to achieving a better appreciation both of the world that is gone and of the world as we know it today.

J. H. Elliott, *History in the Making* (New Haven: Yale University Press, 2012), pp. 215-217.

問1 下線部 (a) の内容を説明したものとして適切なものを、次の選択肢 (1)~(4) のうちから一つ選びなさい。

- (1) 過去の人間がたどってきたあらゆる道のりを、何の重要性もないものとして退けないようにすべきだということ。
- (2) 過去の人間がたどってきた道のりのうち、部分的にしか歩まれなかったものと全く歩まれなかったものを区別するのは意味がないということ。
- (3) 過去の人間がたどってきた道りから、何の教訓も引き出すべきではないということ。
- (4) 過去の人間がたどってきた道りを参照することで得られる知見には、全く頼るべきではないということ。

問2 下線部 (b) を言い換えた文として正しいものを、次の選択肢 (1)~(4) のうちから一つ選びなさい。

- (1) The opportunities also draw their inspiration from curiosity.
- (2) The opportunities also remain curious.
- (3) The opportunities also remain.
- (4) The opportunities also draw from such a thing.

問3 空欄 (c) に入れるべき単語として適切なものを、次の選択肢 (1)~(4) のうちから一つ選びなさい。

- (1) acquired
- (2) forgotten
- (3) lost
- (4) scattered

問4 英文の内容と合うものを、次の選択肢 (1)～(4) のうちから一つ選びなさい。

- (1) 歴史家は、研究する際に個人的な経験に依拠してはならない。
- (2) 歴史家は、過去の人びとが当時知らなかった知識を駆使しながら、俯瞰的な視点にたって研究すべきである。
- (3) T. S. エリオットは、歴史資料のデジタル化を予見し、そして全面的に支持してもいた。
- (4) 歴史研究とは、大量の情報を収集するだけではなく、想像力を駆使して、過去と現在の両方の視点からなされるべきものである。